会報82号　徒然日記

「一番身近な歴史に触れて」

福祉用具部会　部会長

株式会社大平　タイヘイM＆C久留米営業所　渡辺　康助

　NHKのテレビ番組「ファミリーヒストリー」をご存知でしょうか。芸能人の家系を辿り、その人物に至るまでの出来事やドラマを探究するものです。

　その番組を見ていて、ふと自分自身の家系はどうなっているのかと気になり、父に尋ねたことがありました。結果はほとんど何も分からずじまい。父方の祖父は早逝し、祖母も昔を語ることはしない人だったそうです。

　しかし今年のお正月、その祖父の妹にあたる方から様々な話を聞くことができました。最も衝撃的だったのは、「父（私から見て曽祖父）は昔、競馬騎手だった」という話。これには私だけでなく、父も目を丸くしていました。

　高齢者と接する上で、その方自身の経歴や昔話を伺う機会は多いかと思います。もしかするとその中には、ご家族も知らない歴史の１ページが隠れているかもしれませんね。

　中にはご自分のルーツをあまり気にされないという方もいらっしゃるでしょうが、ご利用者様やそのご家族様との話題のひとつに、その方の「ファミリーヒストリー」。ぜひいかがでしょうか。

私個人としては、大叔母から曾祖父や祖父のことを聞いている間中、ずっとワクワクしたままでしたし、聞き終えたあとは何だか嬉しくなりましたよ。

（499文字）